

変わらない人

シリーズ～チェンジ～

2016/6/26

イスラエルの民,王を求める

- 最後の士師であり預言者であったサムエル
 - 彼は立派な指導者だったが,息子たちが賄賂を取って裁きを曲げていた
- 民は周囲の国々のような「王」を求めた
 - 我々もまた、他のすべての国民と同じようになり、王が裁きを行い、王が陣頭に立って進み、我々の戦いをたたかうのです。サムエル記上8:20
- 王を立てると言うことは本当の王である主なる神を退けることである
 - 彼らが退けたのはあなたではない。彼らの上にわたしが王として君臨することを退けているのだ。8:7

サウル,王に任じられる

- 主はサムエルをベニヤミン族のサウルのもとに遣わされた
 - 美しい若者で、彼の美しさに及ぶ者はイスラエルにはだれもいなかった。民のだれよりも肩から上の分だけ背が高かった。9:2
- サムエルはサウルに香油を注ぎ,王に任じた
 - サムエルは油の壺を取り、サウルの頭に油を注ぎ、彼に口づけして、言った。「主があなたに油を注ぎ、御自分の嗣業の民の指導者とされたのです。」10:1
- くじ引きで選ばれた時,サウルは隠れていた
 - 次にキシユの息子サウルがくじで選び出された。人々は彼を捜したが、見つからなかった。…主は答えられた。「見よ、彼は荷物の間に隠れている。」10:21-24

サウル王,初陣を飾る

- アンモン人に攻め込まれた住民が助けを求める
 - 使者はサウルのいるギブアに来て、事の次第を民に報告した。民のだれもが声をあげて泣いた。そこへ、サウルが牛を追って畑から戻って来た。11:4-5
- サウル,陣頭に立って指揮しアンモン人に勝利
 - 翌日、サウルは民を三つの組に分け、朝の見張りの時刻にアンモン人の陣営に突入し、日盛りのころまで彼らを討った。11:11
- 民はサウルを王と認めた
 - 民は全員でギルガルに向かい、そこでサウルを王として主の御前に立てた。11:15

サウルの失敗①～忍耐～

- 息子ヨナタンがペリシテの守備隊を打ち破ったことで全面戦争が始まった
 - ペリシテ軍は、イスラエルと戦うために集結した。その戦車は三万、騎兵は六千、兵士は海辺の砂のように多かった。13:5
- ほとんどのイスラエル人は逃げたが、サウルは一部の兵と共に踏みとどまった
 - しかし、サウルはギルガルに踏みとどまり、従う兵は皆、サウルの後ろでおののいていた。13:7
- サウルはサムエルに祈ってもらおうと待っていた
 - サウルは、サムエルが命じたように、七日間待った。だが、サムエルはギルガルに来なかった。兵はサウルのもとから散り始めた。13:8

サウルの失敗①～忍耐～

- サウルは待ちきれず、サムエルが来る前に自分勝手にいけにえを献げてしまった
 - サウルは、「焼き尽くす献げ物と和解の献げ物を持って来なさい」と命じて、焼き尽くす献げ物をささげた。13:9
- ちょうどその時サムエルが到着した
 - 焼き尽くす献げ物をささげ終えたそのとき、サムエルが到着した。サウルは彼に挨拶しようとして迎えに出た。サムエルは言った。「あなたは何をしたのか。」13:10-11
- サウルは、サムエルの来るのが遅いからだ、と言い訳した
 - 「兵士がわたしから離れて散って行くのが目に見えているのに、あなたは約束の日に来てくださらない。しかも、ペリシテ軍はミクマスに集結しているのです。」13:11

サウルの失敗②～貪欲～

- サムエルはサウルにアマレク人を討つよう命じた
 - 人はもちろん家畜もすべて打ち殺すよう命じた
- サウルはアマレク人を討ったが、上等な家畜は残しておいた
 - しかしサウルと兵士は、…羊と牛の最上のもの、初子ではない肥えた動物、小羊、その他何でも上等なものは惜しんで滅ぼし尽くさず、つまらない、値打ちのないものだけを滅ぼし尽くした。15:9
- サムエルがそのことを責めると、サウルは兵士のせいにし、更に主にささげるつもりだった、と言いつつ訳した
 - サウルは答えた。「兵士がアマレク人のもとから引いて来たのです。彼らはあなたの神、主への供え物にしようと、羊と牛の最上のものを取って置いたのです。」15:15

サウルの失敗③～嫉妬～

- サウルはダビデを戦士の長に任命した
 - ダビデは、サウルが派遣するたびに出陣して勝利を収めた。サウルは彼を戦士の長に任命した。このことは、すべての兵士にも、サウルの家臣にも喜ばれた。18:5
- 民はダビデの武勲を讃えた
 - 女たちは楽を奏し、歌い交わした。「サウルは千を討ち／ダビデは万を討った。」18:7
- それを聞いたサウルはダビデを殺そうとした
 - サウルはこれを聞いて激怒し、悔しがって言った。「ダビデには万、わたしには千。あとは、王位を与えるだけか。」この日以来、サウルはダビデをねたみの目で見えるようになった。…サウルは、槍を手にしてしたが、ダビデを壁に突き刺そうとして、その槍を振りかざした。ダビデは二度とも、身をかわした。18:8-11

変わらない人

人間の成長(チェンジ)をじゃまする「弱さ」

「しかし、主よ、あなたは我らの父。わたしたちは粘土、あなたは陶工／わたしたちは皆、あなたの御手の業。」イザヤ64:7

■ 忍耐力のなさ

- 練られる時間を待ちきれない

■ 貪欲(物欲・金欲・出世欲・名誉欲・・・)

- よけいなものを入れようとする

■ 嫉妬心(ねたみ)

- ほかの器が気になる